



国民春闘共闘

2022 年度 第 14 号
2022 年 3 月 9 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

大幅賃上げ・底上げ、全国一律最賃実現 3.2 中央総決起行動

ロシア政府はウクライナから即時撤退を！

22 春闘の山場を目前にした3月2日、国民春闘共闘、全労連、東京春闘共闘、全国食健連は「大幅賃上げ・底上げ、全国一律最賃実現！憲法いかし、いのち・くらし・雇用・生業まもれ！22 春闘勝利！ 3・2 中央総決起行動」を実施しました。本行動は、ロシアのウクライナ軍事侵略に対して抗議し、即時撤退も掲げて取り組みました。日比谷野音での総決起集会、国会請願デモをはじめ、国会内では「全国一律最低賃金署名」12万 1,517 人分と「新しいのち署名」20万 8,742 人分を提出、非正規差別と長時間労働の解消を求める請願署名の議員要請をおこないました。全労連女性部、各単産、公務労組連、全国食健連などが独自行動を展開しました。

中央総決起集会

職場・地域から 3 月 9 日集中回答日、10 日統一行動に力の結集を

12 時 10 分から日比谷野外音楽堂で「大幅賃上げ・底上げ、全国一律最賃実現！憲法いかし、いのち・くらし・雇用・生業まもれ！ 22 春闘勝利！ 3・2 中央総決起行動」を開催しました。会場には 350 人が参加し、インターネットのライブ中継は 400 アクセスありました。

主催者あいさつで国民春闘共闘の小畑雅子代表幹事（全労連議長）は冒頭、ロシアのウクライナへの侵略に抗議し、「ロシアに即時撤退を、日本には憲法 9 条を活かした外交努力を求める」と厳しい口調で述べました。そして「春闘前半からケア労働者の賃上げをめざしてきた。最低賃金 1500 円もすすめてきている。大企業の内部留保



の2.8%を使えば2.5万円の賃上げが可能と試算されている。地域、職場から賃上げの声をあげよう」と呼びかけました。

全労協の渡邊洋議長が連帯あいさつ。「コロナ禍で多くの労働者がシフトを外されたり、解雇されたり、労働条件を改悪されている。労働組合として、こうした労働者の声を受け止めて行動していこう」と呼びかけました。国会情勢報告を日本共産党の志位和夫衆議院議員が行いました。

国民春闘共闘の黒澤幸一事務局長（全労連事務局長）は、行動提起として「3月9日集中回答、10日統一行動に結集し賃上げ・底上げを勝ち取ろう」と呼びかけ、「22春闘は物価の上昇とウクライナ情勢で大変厳しい春闘となっているが、だからこそ大幅賃上げで潮目を変えよう。1番目は賃上げ。2番目は最低賃金1,500円。3番目はウクライナ侵略をやめさせる。今春闘でやりきろう」と強調しました。

各単産の代表が登壇し要求実現への決意を述べました。全労連・全国一般の関口友記東京地本計器工事関連分会書記長が組合差別と雇止めとのたたかいについて「親会社が実際の職場の労働条件を決めているのを、労働組合として突破していきたい」、全印総連の大塚涼東京地連中央執行委員は原材料費が高騰するなかでのたたかいについて「皺寄せを中小零細企業の労働者や顧客に押し付けないように発注元に要請している。不誠実な対応に終始する雇用先と交渉し、改善を勝ち取っている。企業はSDGsを掲げるならば、まず足元の労働者に目を向けて」と訴えました。

清水浩介東京医労連書記次長が都立病院の独法化反対を表明し、「人の命を守る医療や介護・福祉と戦争とは相容れないものだ。医療介護福祉の労働組合として戦争に反対する。岸田政権の医療・介護労働者の賃上げ策は、賃上げがされる人とされない人がでる、職場に分断を持ち込むものだ。全ての労働者の賃上げの実現をめざす」、自治労連の小泉治中央執行委員は「第5波における職場実態調査で保健所の保健師全員が長時間労働、最大298時間の時間外など深刻な実態が明らかになった。公務労働者が健康で安心して働ける職場を実現することは、住民サービスを向上させ住民のいのちと健康、くらしを支えることに直結する。『新しいち署名』と『職員を守る署名』を進める」と力強く決意を表明しました。

最後に国民春闘共闘の砂山太一代表幹事（全農協労連委員長）の閉会のあいさつと団結ガンバローで集会を終え、国会請願デモに出発しました。



署名提出・要請行動

新しいち署名 20万8,742人分 紹介議員97人
全国一律最賃署名 12万1,517人分 紹介議員103人



請願デモの後、参議院議員会館・講堂で「全国一律最賃制度の実現を求める請願署名」と新「いのち署名」（安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための請願署名）の提出行動を行いました。また、衆議院と参議院の厚生労働委員に「非正規

差別と長時間労働の解消を求める請願署名」の紹介議員を要請しました。8人の国会議員（下記）と4人の秘書が参加、激励をいただき、自民党最賃一元化議連事務局長の務台俊介衆議院議員からメッセージが寄せられました。

衆議院 吉田つねひこ議員（立憲）、宮本徹議員（共産）、末松義規議員（立憲）、
鎌田さゆり議員（立憲）、本村伸子議員（共産）、大石あきこ議員（れいわ）

参議院 船後靖彦議員（れいわ）、いわぶち友議員（共産） （以上、順不同）

各組織・団体の独自行動 Pick UP！

全労連女性部 菜の花行動



公務労組連絡会・全労連公務部会 人事院前要求行動



自交総連 車両請願提出行動



国土交通労組 Twitter より

食健連 Twitter より



食健連 署名提出行動